

幼児期の喘息・鼻炎と高校期の顔・上半身症状を経て汗による頭部症状のみとなった青年期アトピーの経過 (17 歳 女性)

症例 ID：001-17-MS | 記録日：不明

1. 診断・治療前経過

3 歳頃から喘息発作を繰り返し、リンデロンを含む吸入薬や内服薬を使用しました。小学校 4 年頃から鼻炎が強くなりました。

中学 2 年冬に頭皮のかゆみと浸出性症状が始まり、高校 2 年夏には腕、額、目の周囲から首、胸へ赤みが広がりました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	喘息にリンデロンを含む吸入薬を使用し、頭皮症状に外用薬を使用しました。
製品名	リンデロン、メプチン、テオップなど。皮膚外用薬名は不明です。
強度	リンデロンを含みます。
使用期間	幼児期から高校期まで断続的に使用しました。
中止時期	高校 2 年夏の治療開始時です。
来院前／後	来院前に使用歴があります。来院後は使用していません。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
3 歳～小学生期	喘息・鼻炎	喘息発作と鼻炎を繰り返し、吸入薬と内服薬を使用しました。
中学 2 年冬	皮膚症状	頭皮にかゆみと浸出性症状が出て、冬ごとに繰り返しました。
高校 2 年夏	急性悪化	腕、額、目の周囲から首、胸へ赤みが広がりました。
7 月 27 日	治療開始	喘息の治療から開始し、その後アトピー治療へ移行しました。
治療初期	経過	大きなリバウンドはなく、顔、手、首、胸の症状が消えました。
翌年 4 月	軽い再燃	首の周囲が赤くなりましたが、約 1 か月で落ち着きました。
治療 1 年	経過後	汗をかくと頭が少しかゆい程度となり、喘息と鼻炎もみられなくなりました。

4. ピーク時期

ピークは、高校 2 年夏に腕、額、目の周囲の赤みが首と胸へ日ごとに広がった時期です。

5. 困りごと

- ・幼児期から喘息発作と鼻炎の治療が続きました。
- ・高校期には顔や上半身の症状が急速に広がりました。
- ・煎じ薬の味に慣れる必要がありました。

6. 経過のまとめ

治療開始後は大きなリバウンドなく顔、手、首、胸の症状が消え、翌年の軽い再燃も約 1 か月で落ち着きました。

治療 1 年時点では、汗をかくと頭が少しかゆい程度となり、喘息と鼻炎もみられなくなりました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。